



Yokohama Arts Foundation

記者発表資料

取扱注意	
解禁	7月20日(土) 13:45
	お成りの日時についての事前報道はお控えください。

令和元年7月17日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
横浜能楽堂

秋篠宮皇嗣妃殿下 横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」へお成り

秋篠宮皇嗣妃殿下は、7月20日(土)、横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」第2日をご鑑賞になるため、横浜能楽堂へお成りになります。

1 公演名

横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」第2日

2 日時

令和元年7月20日(土) 13:00 開場 14:00 開演

お成り時間

13:45 頃 横浜能楽堂 御着

13:59 頃～ 特別企画公演 ご鑑賞

※時刻については、取材の便宜のためお知らせするものです。

事前に報道することは、ご遠慮願います。

3 会場

横浜能楽堂 (横浜市西区紅葉ヶ丘27-2)



能「大典」(観世流) 片山九郎右衛門
撮影：神田佳明

4 出演者

片山九郎右衛門、山本則秀、萩岡松韻、堅田喜三久、藤本昭子、神令 ほか

5 取材申込み

別紙の取材申込書をご利用の上、7月18日(木) 17:00までにFAXにてお申込みください。

取材については、別添「取材要領」をご参照ください。

公演広報用画像の提供が可能です。

6 主催

横浜能楽堂 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

お問い合わせ先

横浜能楽堂 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

支配人 菅原 幸子 事業担当 大瀧 誠之 TEL : 045-263-3050

令和元年 7 月 17 日
横浜能楽堂

報道機関各位

秋篠宮皇嗣妃殿下
横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」へのお成りについて

秋篠宮皇嗣妃殿下は、7 月 20 日（土）、横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」をご鑑賞になるため、横浜能楽堂へお成りになります。

記

1 日時

令和元年 7 月 20 日（土）

午後 1 時 45 分頃 横浜能楽堂 御着

同 1 時 59 分頃～ 特別企画公演ご鑑賞（カメラ位置別紙 A 位置）

※時刻については、取材の便宜のためお知らせするものです。事前に報道することは、ご遠慮願います。

2 場所

横浜能楽堂

（横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2）

3 取材場所および取材方法について

別添「取材要領」をご参照願います。

【問い合わせ先】

横浜能楽堂／担当：秦野五花、大瀧誠之

☎ 0 4 5 - 2 6 3 - 3 0 5 0

秋篠宮皇嗣妃殿下お成り取材要領

1 受付について

- (1) 添付の「取材申込書」にご記入の上、7月18日(木)午後5時までにファックスでお申込みください。
- (2) 当日は午後1時から午後1時25分間に、横浜能楽堂正面玄関内の取材受付までお越しください。係員に記者証をご提示の上、受付名簿に会社名・氏名等をご記入願います。
- (3) 受付の際にリボンをお渡ししますので、必ず自社腕章と一緒にご着用願います(宮内記者会は同記者会腕章のみを着用願います)。着用がない場合には、取材できませんのでご注意願います。また、午後1時30分から取材概要の説明を行いますので、受付付近でお待ちください。

2 取材について

- (1) 都合上、カメラ取材は、各カメラ位置につき各協会等代表1カメラ(ムービーの助手については各1名)でお願いします。
- (2) カメラ位置は、1階見所(客席)の1か所(別紙A位置)で、見所御入場から御着席後1分程度までとなります。時刻は午後1時59分頃の予定です。
取材終了後は速やかにカメラ位置から退出願います。
※時刻については、取材の便宜上のためにお知らせするものです。事前に報道することはご遠慮願います。
なお、公演の撮影をご希望の場合は、1階見所(客席)の1か所(別紙B)です。開演中は移動不可となりますので、開演前あるいは休憩中(別添公演タイムテーブル参照)に機材のセットをお願いします。
秋篠宮皇嗣妃殿下の撮影はご遠慮ください。
- (3) フラッシュおよびムービーライトの使用をご遠慮いただく場合がありますので、あらかじめご承知願います。
- (4) 三脚、脚立の使用は可能です。
- (5) カメラ位置については、当日変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (6) 記録用カメラも入りますので、あらかじめご了承ください。

3 その他

- (1) 指定された位置以外での取材はご遠慮ください。
- (2) 秋篠宮皇嗣妃殿下への質問、マイクの突き出しはご遠慮ください。
- (3) カメラ位置、取材方法および取材場所への移動は、係員の指示に従ってください。
- (4) 公演の取材希望がありましたら、受付の際にお申し出願います。
- (5) 駐車場のご準備はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

F A X 045-263-3031

横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」
取材申込書

以下に必要事項をご記入いただき、7月18日(木)17時までFAX:045-263-3031までお送りください。

受付時間	令和元年7月20日(土)13時~13時25分
撮影有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
ジャンル	ペン ・ スチール (台) ・ ムービー (台)

申 込 日	令和元年 7月 日 ()
御 社 名	
所属部署・媒体(番組)名	
お申込者	E-mail:
ご連絡先	住所: 〒 _____ _____ 電話: _____ 携帯: _____ FAX: _____
当日取材者(氏名・人数)	合計人数 _____人
ムービー助手氏名	
当日の連絡先	当日責任者 _____ 携帯電話 _____
露出予定	露出メディア名
	露出予定日・放送予定時間
	その他
備 考	

<お願い>

- 掲載紙・誌、番組VTR等のDVDをご送付ください。
- 取材に関しましては、報道を目的としている場合に限らせていただきます。
- 横浜能楽堂が指定する場所以外での取材・撮影はできません。
- 申込み後にキャンセルがある場合は必ず事前にご連絡ください。
- 取材当日の集合場所、集合時間は厳守ください。本紙と「ご本人が取材者であることを確認できるもの」をご提示ください。

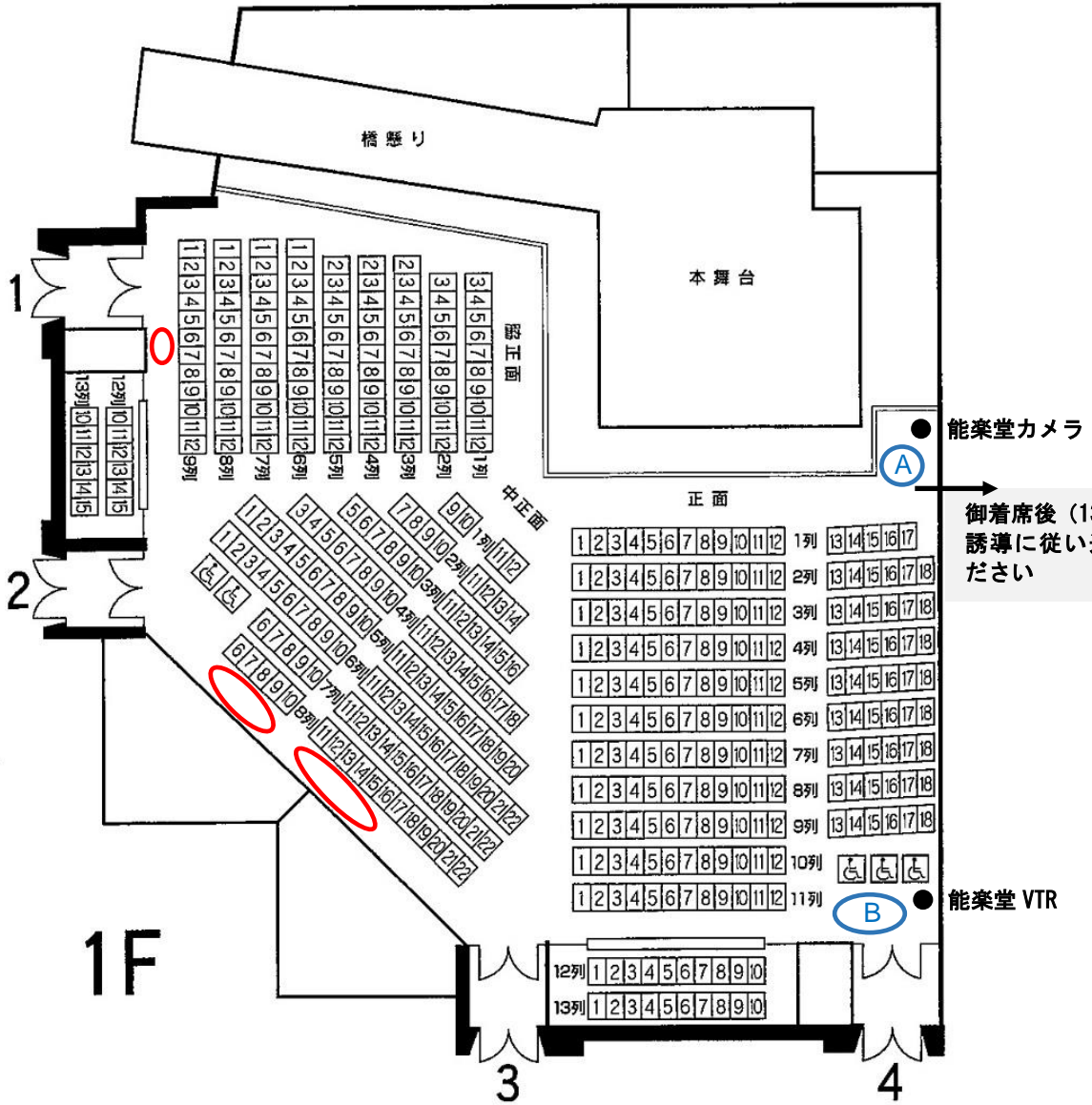


横浜能楽堂

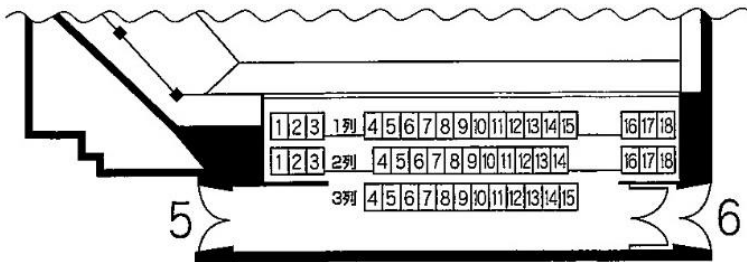
代表撮影位置

ペン記者席

客席御案内



御着席後 (13:59 予定)、
誘導に従い退出してく
ださい



2F

区分	席数	備考
正面	208	車椅子用スペース3席を含む
脇正面	113	
中正面	118	車椅子用スペース2席を含む
2 F	47	
計	486	車椅子用スペース5席を含む

横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」第2日

令和元年7月20日（土）

<タイムテーブル>

午後1時開場

午後2時開演

〈第1部〉

尺八古典本曲「鶴之巢籠」 神令

地歌「難波獅子」 藤本昭子 ほか

箏曲「五月晴」 萩岡松韻、堅田喜三久 ほか

午後2時45分 〈休憩 15分〉

午後3時00分

〈第2部〉

【復曲】狂言「鷺」（大蔵流） 山本則秀 ほか

能「大典」（観世流） 片山九郎右衛門 ほか

終演予定時刻 午後4時33分頃

横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」第2日

新天皇即位を記念し能「大典」を上演

「邦楽・能楽」から皇室ゆかりの作品を上演

2019年5月、新天皇が即位された。横浜能楽堂では、その慶事に際し、特別企画公演「大典 奉祝の芸能」を2日にわたり開催。7月20日開催の第2日は、大正天皇の即位を祝して作られた能「大典（たいてん）」を観世流の片山九郎右衛門が演じるほか、古典芸能の中から皇室ゆかりの曲や祝儀曲を上演する。

6月2日（日）に開催した第1日は、では「琉球舞踊」を上演。上皇陛下（当時皇太子殿下）が詠まれた琉歌を歌詞とし、上皇后陛下（当時皇太子妃殿下）が作曲された「歌声の響」などを上演。当日は、秋篠宮皇嗣妃殿下並びに眞子内親王殿下もご来場され、琉球舞踊の数々を楽しまれた。

7月20日（土）の第2日は、観世流の片山九郎右衛門が能「大典」を演じる。「大典」は大正天皇の即位を祝して作られ、天皇即位の時のみに上演記録の残る作品。今回は、詞章・演出などを見直し、現代に相応しい形で上演する。その他、太郎冠者が神泉苑に舞い降りた鷺の姿を真似る狂言「鷺」や大正天皇の銀婚式を祝い、初代萩岡松韻により作曲された箏曲「五月晴」など「邦楽・能楽」の作品の中から、皇室ゆかりの作品を送る。

なお、能「大典」は横浜で上演した後、11月にニューヨークのジャパン・ソサエティーでも上演される。



能「大典」（観世流）片山九郎右衛門

撮影：神田佳明

※写真がご入用の場合はご連絡ください。

この資料に関するお問い合わせ

横浜能楽堂：大瀧誠之

TEL：045-263-3050

FAX：045-263-3031

E-mail（大瀧）：no.otaki@yaf.or.jp

大正天皇即位に際し作られた能「大典」を上演

第2日は邦楽と能楽を取り上げる。今回上演する能「大典」は、大正天皇即位大典を祝して作られた作品。京都帝国大学教授で「万葉集」のドイツ語訳を手掛けた藤代禎輔の作詞、二十四世観世左近（元滋）の作曲により、1915年（大正4年）11月に京都の片山能楽堂で御大典奉祝能として初演された。ツレの天女之舞、シテの神舞が爽やかに続き、短いながらも華やかさと祝言的雰囲気満ちた曲で、観世流の現行曲となっているが、初演以降、数回の上演記録が残るのみ。今回は、法政大学名誉教授の西野春雄氏の監修・補綴、作品と関わりの深い京都・片山家の当主であり、現代を代表する能楽師の一人・片山九郎右衛門のシテにより、詞章・演出などを見直し、現代に相応しい形で上演する。その他、大正天皇の銀婚式を祝い、初代萩岡松韻により作曲された箏曲「五月晴」を萩岡松韻、邦楽囃子の重要無形文化財各個認定保持者（人間国宝）・堅田喜三久の出演で上演するほか、大正時代まで存続していた鷺流のみに伝承されていた狂言「鷺」を復曲して上演するなど、邦楽と能楽から皇室ゆかりの作品を送る。

◇◇ 公 演 概 要 ◇◇

■ 公演名 横浜能楽堂特別企画公演「大典 奉祝の芸能」

■ 日時

第2日 令和元年7月20日（土）午後2時開演（午後1時開場）

■ 演目

尺八古典本曲「鶴之巢籠」 神 令

地歌「難波獅子」藤本 昭子

箏曲「五月晴」萩岡 松韻、堅田 喜三久

【復曲】狂言「鷺」（大蔵流）山本 則秀

能「大典」（観世流）片山 九郎右衛門

■ 入場料（全席指定）

第2日 S席：7,000円 A席：6,000円 B席：5,000円

■ お申し込み・お問合せ

横浜能楽堂 電話 045-263-3055

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2

ホームページ <http://ynt.yaf.jp/org>

■ 主催 横浜能楽堂（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）